

2014年度入学試験問題

日本史 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

【I】 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1・問2・問6は、記述解答用紙に答えなさい。問3～問5、問7・問8はマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

A 6世紀中ごろから、仏教はしだいにひろまり、わが国最初の高度な仏教文化がおこった。この時代には、豪族によって權威の象徴として大寺院があいついで建立された。これらの寺には、当時のすぐれた仏教彫刻や絵画がのこされている。たとえば、法隆寺が伝える の須弥座絵・扉絵は、この時代の工芸美術の水準を示している。また、高句麗の僧 が紙・墨・絵の具の製法を伝えたのも、この時代である。

B 天武・持統朝を中心とする7世紀後半の半世紀は、律令国家の形成期にあたり、若々しい活気に満ちた文化がおこった。この時代の彫刻や絵画は、中国大陸の文化の強い影響を受けて発達したが、西域などの影響のみられる作品もある。^①

C 奈良時代には、中央集権の政治の発達により、貴族層や宮廷・寺院を中心にはなやかな貴族文化が発達した。中国大陸の文化の影響が大きいが、インドやペルシアなどの文化の影響もあり、国際的な性格をみてとることができる。この時代にも優れた絵画芸術がのこされ、たとえば、右京に移された には、吉祥天女の絵画がのこされている。

D 平安遷都から9世紀末ごろまでの時代は、文芸によって国家の隆盛を目指す思想がさかんとなり、漢文学が発達し、仏教では密教が信仰された。密教の影響は、この時代の作品にも顕著である。

E 唐の滅亡後は大陸文化の影響が次第に薄れ、日本の風土にあった優美で繊細な貴族文化がおこった。当時流行した浄土教の影響下で、藤原頼通は平等院鳳凰堂を建立し、その本尊には、 如来像が据えられた。絵画芸術の分野では、 仏が往生する人をむかえにくる情景を示した来迎図がさかんに描かれた。また、日本の風物を題材とし、なだらかな線と上品な彩色とを持つ大和絵が描かれた。^②

F 11世紀末から始まる院政期には、仏教は院権力のよりどころとなり、仏教は最盛期をむかえた。絵画では、物語や説話を題材に、詞書を織りまぜながら場面を展開していく絵巻物という独自の絵画様式があみだされた。代表的な絵巻物作品として、「伴大納言絵巻」がある。

G 鎌倉時代には武士が新たに文化の担い手となり、新しい文化をうみだした。政治・経済面での進出につれ、武士は独自の教養や学問を求めようになり、その素朴で質実な気風は、多方面に影響を与えた。禅宗の世界では、高僧の肖像画である が描かれた。また、前代につづいて、絵巻物もさかんにつくられた。

H 14世紀末から15世紀の初めには、貴族の伝統文化と、禅宗に代表される中国文化を融合させた新しい文化が生まれた。この時代では、幕府から保護された禅宗寺院を中心とする五山文学が隆盛した。絵画では、水墨画が好まれた。

I 15世紀後半には、先の時代の文化にかわって、より洗練された簡素で趣のある文化が生まれた。この時代の文化は、足利義政が築いた山荘に代表される。絵画では、水墨画がさらにさかんとなった。一方、狩野正信・元信親子は、狩野派をおこした。

J 16世紀の織田・豊臣政権の時期における文化の担い手は、権力と富を集めた武将や豪商であり、彼らの気風を反映して、豪壮で雄大な内容が好まれた。この時代の特色をよく示すものとして、金箔地に彩色を施した装飾風の画である がある。

問I 文中の空欄 ~ に入るもっとも適切な語・人名を、漢字で答えなさい。

問2 次の写真の各作品は、AからJのどの時代に成立したか。それぞれが成立した時代の記号を1つ選び、その記号を答えなさい。

a



b



c



問3 下線部①のBの時代の絵画美術には、高松塚古墳壁画・法隆寺金堂壁画・キトラ古墳壁画があるとされている。これらに関する次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 高松塚古墳壁画には、隋・高句麗の影響がみられた。
- b 法隆寺金堂壁画には、インドの様式の影響がみられた。
- c 高松塚古墳壁画・キトラ古墳壁画には、四神・天文図が描かれた。
- d 法隆寺金堂壁画には、男女の官人が描かれた。

問4 下線部②の大和絵に関する次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 平安時代に活躍した画家として、巨勢金岡が知られている。
- b 三筆と呼ばれる小野道風らの名手の書は、大和絵屏風にも書かれた。
- c 公家の没落とともに衰えた大和絵は、Hの時代に、土佐光信が出て復興した。
- d 狩野派に属した俵屋宗達は、Jの時代に、大和絵の画風をうけつぎつつ大胆で躍動感のある新しい装飾画をうみだした。

問5 下線部③の絵巻物のうち、Fの時代に成立したものを次から2つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 『源氏物語絵巻』
- b 『信貴山縁起絵巻』
- c 『北野天神縁起絵巻』
- d 『平治物語絵巻』
- e 『男衾三郎絵巻』

問6 下線部④の『伴大納言絵巻』は、ある政変を素材にして描かれている。その政変は、AからJのどの時代におきたか。該当する時代の記号を1つ選び、その記号を答えなさい。

問7 下線部⑤の狩野派に関する次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 狩野正信・元信親子は、大和絵の描線と水墨画の色彩を統一して狩野派をおこした。
- b Jの時代に活躍した狩野永徳は、代表作として、『洛中洛外図屏風』、『唐獅子図屏風』を残した。
- c 江戸時代に、狩野派から狩野山楽が出て、幕府の御用絵師となった。

問8 次の写真の絵画美術に関する次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。



- a この絵画の作者は、五山僧の明兆である。
- b この絵画が成立したのは、Hの時代である。
- c この絵画は、禅の公案を図示したものである。
- d この絵画の作者は、宋・元画を学んだ。

- II 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。問1～問8は記述解答用紙に答えなさい。問9～問12はマーク解答用紙にマークしなさい。(30点)

以下の史料は、江戸時代、オランダ商館にやってきた人物の日本見聞記の邦訳で、Aはツンベルク(ツンベルグ、ツェンベリーとも表記)、Bはケンベル(ケンプエルとも表記)、Cはシーボルトによるものである(なおこれらの文章は抜粋で、その表記は一部改変)。

A 江戸に着くやすぐにこの町の学者たちの訪問を受けた。(中略)一番若い医者は桂川甫周と云う人で、將軍の侍医なので、衣服に將軍の紋をつけていた。この若者^①は愛想がよく陽気な性質の人で、よく私の許にその友達の中川淳庵をつれて来た。この人は彼より少し年長で、この国の公子付の医者である。二人とも、ことに後者は和蘭語をかなり話した。二人とも和蘭語或は支那語の書物により、博物学、鉱物学、動物学及び植物学を多少研究していた。(中略)私の忠実な弟子となった、例の二人の侍医は殆んど一日も欠かさずに、私に逢いに来た。私が欣んで教えてやったことを、この二人は熱心に聞いたので、二人とも日本の医者が持っていない智識を沢山に持つようになった。(中略)猶私は自分の発條付ランセットその他の外科用具を、私の二人の愛弟子のために手離してやった。

(『ツンベルグ日本紀行』)

B 一人の坊主の脚を損いて、(中略)潰瘍を發せるもの来りしが、別段のことにてはなく、そこに小さき丸き欧羅巴の布片に厚く塗りたる膏薬を張りたるが、余に脈を取り傷を検することを命ぜられたり。脈拍を見ては彼を健康な丈夫な人と見立て、傷を見ては何の危険もなきことを保証し、又膏薬につきては、余之を半ば開き直に閉じて「それにて既に治癒すべし。ただ余が創面を見て知る如く、実は本来酒の為なれば、酒を節減すべし」と云えりしに、將軍及び満座の人々は之をき、て頗る氣に入りしと見えて、心からの笑に吹き出したり。^②(中略)暫くして上役のもの余に問えり。「潰瘍の中如何なるが危険なりや」、「醫師は何時・何病に対して刺絡をすべきや」など云うこと是なり。彼等は欧羅巴の膏薬につき少しく知りたるが如く装

いしが其名称をよく発音し得ざりしかば、余は片言の日本語をもて彼等に助けたり。そは半ば羅匈語・半ば日本語の稱呼にて、我等の言いしこと不可解なりしかば將軍^②は「我等互に何を談するか」「何国語にて話するか」と問いしに。侍人は「それは壊れたる日本語なり」と答えたり。

(『ケンプェル江戸参府紀行』)

C 四月十三日 日本人なる友人及び医師多数来訪したり。余は多数の乾腊植物を得たるが、学識勝れたる桂川甫賢、宇田川榕庵より得たるは中にも優れたり。

四月十六日 最上徳内^③といへる日本人は既に二日間に亙り余を尋ね来たりしが、余は彼が教育及び之と近き関係ある学問につき、知識の深き人なるを知れり。(中略) 厳に人知れずいつしか余が黙秘するという約束の下に、蝦夷樺太島の海洋との関係を包容したる地図を暫くの間使用すべく余等に貸し与えたり。是れ実に我等に取りて無上の重宝なり。

四月十七日 晩に幕府の医師桂川甫賢及び仙台侯の侍医大槻玄沢^④と会談す。二人とも和蘭人及び欧羅巴学問の愛護者なり。

四月十八日 蘭^{あざな}字をグローピウスと云う幕府天文方 来訪を得たり。是も同じく欧羅巴学問の愛護者なり。

五月七日 晩に中津侯の訪問あり。鷹狩の道具を贈らる。天文方グローピウスの訪問あり。江戸の地図及び薩哈連^{さかれん}(=樺太)の立派なる地図を齎^{もた}らして示せり。サンガル海峡は津軽海峡と云い、薩哈連^{さかれん}と黒竜江口との間の海峡は と称ふ。

五月十五日 余は幕府の侍医諸氏に敬意を表するため別宴を催せり。グローピウス来たり。日本のいと美事なる地図を示し、余のために之を周旋すべしと約せしが、後に之を果せり。

(『シーボルト江戸参府紀行』)

問1 史料Aの下線部①の桂川甫周を師とし、オランダ内科書の翻訳『西説内科撰要』(1793年)を著した医師の氏名を漢字で答えなさい。

問2 史料Bにあるケンペルの江戸参府は、彼の2度目の参府で1692(元禄5)年のことである。下線部②の将軍を漢字で答えなさい。

問3 長崎で生まれ育った西川如見は、書物や当地で見聞したことに基づいて、海外事情をまとめた書物(1695年)を書いた。その書名を漢字で答えなさい。

問4 史料Cの下線部③の宇田川榕庵が蘭書から翻訳した化学書(1837年)の書名を、漢字で答えなさい。

問5 史料Cの下線部④の最上徳内とともに幕命をうけ、千島の調査をおこなった人物の氏名を漢字で答えなさい。

問6 史料Cの下線部⑤の大槻玄沢が江戸で開いた蘭学塾の名称を漢字で答えなさい。

問7 史料Cの下線部⑤の大槻玄沢は長崎に行き、コペルニクス地動説を紹介した訳書『阿蘭陀地球図説』(1772年)で知られる和蘭通詞に学んだ。この通詞の氏名を漢字で答えなさい。

問8 空欄 に入る氏名と、空欄 に入る名称とを漢字で答えなさい。

問9 下記のa～eの人物のうち、『解体新書』(1774年)の訳述・刊行に直接関与したものにはイ、そうでないものにはロをマークしなさい。

- a 杉田玄白 b 稲村三伯 c 前野良沢 d 小田野直武
e 山脇東洋

問10 a ツンベルク、b ケンペル、c シーボルトはそれぞれどの出身か。下記のイ～ニのうち該当するものを答えなさい。

- イ オランダ ロ スウェーデン ハ オーストリア ニ ドイツ

問11 次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a 蛮書和解御用が設立されたのは、シーボルト事件後である。
- b シーボルトは、長崎の鳴滝で医学だけでなく、西洋の地理などを教えた。
- c シーボルトが持ち出そうとした禁制品には、伊能忠敬の作成した地図の写しがあった。

問12 次の文のうち、正しいものにはイ、誤っているものにはロをマークしなさい。

- a オランダ商館長は、定期的に江戸参府を求められた。
- b 江戸時代、長崎に来航する唐船からの情報は、唐船風説書としてまとめられた。
- c 出島のオランダ商館は、東インド会社の支店であった。

III 明治新政府が米欧に派遣した使節団に関する次のA～Dの史料を読み、下記の問1～問10の設問について、記述解答用紙に答えなさい。(40点)

A 外国ノ交際ハ国ノ安危ニ関シ、使節ノ能否ハ国ノ榮辱ニ係ル、今ヤ大政維新、海外各國ト並立ヲ図ル時ニ方リ、使命ヲ絶域万里ニ奉ス、外交内治前途ノ大業其成其否、實ニ此舉ニ在リ、豈大任ニアラスヤ、大使天然ノ英資ヲ抱キ中興ノ元勳タリ、所属諸卿皆国家ノ柱石、而テ所率ノ官員亦是一時ノ俊秀、各欽旨ヲ奉シ同心協力以テ其職ヲ尽ス、我其必ス奏功ノ遠カラサルヲ知ル、行ケヤ海ニ火輪ヲ転シ、陸ニ汽車ヲ輾ラシ、万里馳驅、英名ヲ四方ニ宣揚シ無恙帰朝ヲ祈ル

(『岩倉公実記』より)

B 十一月十日、具視 木戸孝允、大久保利通、伊藤博文、1 及一行ノ官員総テ四十八人、皆東京ヲ発シ横浜ニ抵ル、十一日具視裁判所ニ於テ在留ノ各国公使及書記官ニ晚餐ヲ供シテ別ヲ告ク、十二日十字、具視副使一行ノ官員及留学生女生等五十四人波戸場ヨリ小蒸気船ニ坐シ太平洋会社郵船「アメリカ」号ニ至リ之ニ登ル、各其室ヲ占ム、午後一字抜錨転輪ス、此時砲台及軍艦ヨリ礼砲十九発ヲ轟放ス、軍艦乗組員ハ甲板上ニ羅列シテ手ヲ額ニ加ヘ岸上ノ送別員ハ帽ヲ脱シ、其行ヲ祝ス

(『岩倉公実記』より)

C 英國ノ富ハ、元來礦利ニ基セリ、國中ニ鉄ト2ト産出高ノ莫大ナルコト、世界第一ナリ、国民此兩利ニヨリ、汽器、汽船、鉄道ヲ發明シ、火熱ニヨリ蒸気ヲ駆リ、以テ營業力ヲ倍蕘シ、紡織ト航海トノ利權ヲ専有シテ、世界ニ雄視横行スル国トハナリタリ

(『特命全權大使米欧回覽実記』より)

D 此書ハ、遣欧米特命全權大使、東京ヲ発シ、太平海ヲ航シ、米國ニ留リ、^{アフリカ}洋ヲ経テ、英^{スコットランド}蘇^{ベルギー}兩部ヲ回り、欧陸ニ渡リ、仏、白、蘭、普、露、噠、瑞^{スウェーデン}典ノ奥ヲ經歷シ、^(とめが)勅ヲ回シテ、^{ゼルマン}日耳曼地方ヨリ、以、^{イタリヤ}埃、^{スイス}瑞士ヲ回り、^{アラビヤ}南部ヲスキ、地中海ヨリ、紅海、^{アラビヤ}亜刺伯、印度、支那ノ諸海ヲ航シテ、東京ニ復命スルマテ、日日目撃耳聞セル所ヲ筆記ス、明治四年辛未十一月十日ニ起リ、六年九月十三日ニ止ル(即西曆千八百七十一年十二月十二日ヨリ同七十三年九月十三日マ

テ)、スヘテ全一年九ヶ月二十一ケ日ノ星霜ニテ、米欧兩洲著名ノ都邑ハ、大半回
歴ヲ経タリ (『特命全權大使米欧回覽実記』より)

問1 明治新政府は、使節団派遣直前に名実ともに中央集権化を達成する改革を断行
していた。この改革とは何か、漢字で答えなさい。

問2 史料Aは、太政大臣の使節団への送別の言葉である。この太政大臣とは誰か、
その氏名を漢字で答えなさい。

問3 使節団が米欧に派遣されている間の政府は何とよばれているか、その名称を漢
字で答えなさい。

問4 史料Bの空欄 に入るのは、特命全權副使として出発した人物である。
それは誰か、その氏名を漢字で答えなさい。

問5 史料Bの「一行ノ官員及留学生女学生等」のなかには、次のa～eの人物とが
ふくまれていた。これらの人物について、もっとも適切な説明を、ア～コのな
かからそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

- a 福地源一郎 b 中江兆民 c 久米邦武
d 津田梅子 e 団琢磨

ア 論文「民法出テ、忠孝亡ブ」を發表し、旧民法の施行に反対した。

イ ルソーの『社会契約論』の一部を漢訳した『民約訳解』を刊行した。

ウ 最初の女子留学生のなかでは、最年長であった。

エ 欧化主義に反対し、新聞『日本』を創刊した。

オ 政府の支援をうけ、立憲帝政党を組織した。

カ 三井合名会社理事長のとき、血盟団員によって暗殺された。

キ 女子英学塾を創立し、女子教育に尽力した。

ク 浜口雄幸内閣の蔵相に起用され、金解禁を断行した。

ケ キリスト教徒として教育勅語への拝礼を拒み、教職を追われた。

コ 論文「神道は祭天の古俗」を發表して、神道家の攻撃をうけた。

問6 使節団が訪問した当時の大英帝国の君主は誰か、その名前を答えなさい。

問7 史料Cの空欄

2

 に入る工業の原料とは何か、漢字で答えなさい。

問8 史料Dの「普」の首府ベルリンで、使節団首脳は「鉄血宰相」とよばれた政治家の宴会に招かれ、国際政治の現実と国家経営についての演説に多大な感銘をうけた。この政治家とは誰か、その名前を答えなさい。

問9 使節団一行が出発してから大使が帰国するまでの間の事柄を、次のア～ケのなかから3つ選び、記号で答えなさい。

ア 太陽暦が採用された。

イ 第1回内国勸業博覧会が上野で開催された。

ウ 鉄道馬車が運行を開始した。

エ 万国郵便連合条約に加盟した。

オ 官営の富岡製糸場が操業を開始した。

カ 長崎に大浦天主堂が建てられた。

キ 新橋・横浜間で鉄道が開業した。

ク 人力車が発明された。

ケ 東京・横浜間に電信線が架設された。

問10 史料Aにある使命の1つは条約改正のための予備交渉をすることであった。使節団は、最初の訪問国であるアメリカで、予備交渉にとどまらず、正式の交渉を試みようとした。しかし、日本は幕末の条約でアメリカをはじめとした条約締結国に片務的最恵国待遇を認めていたため、アメリカとの単独の条約改正交渉を中止せざるをえなかった。この片務的最恵国待遇について、150字以内（句読点を含む）で説明しなさい。